

保育育讀本 育のての心

忽十版

東京女高師教授
附屬幼稚園主任

倉橋惣三先生著

身も心も打ち込んだ子供の導き

清新珠玉の如き保育の眞諦!!

倉橋先生の尊い経験の上に立つ保育讀本。而も學理を實踐に遷し、實踐から學理を生んで、たゆみなき精進に、寧日もなき先生が生み出されたこの書は、我が國幼兒教育界の非常なる幸福である。而も文脈醇澄にして盡くるなき、うるはしき文體には、子供を導き教へようとする人々の胸に、限りなき樂しさと盡くるなき味ひとを感じさせずにはおかない。蓋し不朽の生命を有つ名著として、子供を持つ人々の心に、永遠の至幸を齎らさしむるであらう。

——四六大判四〇〇頁・アイト刷名畫十二葉入り美裝・價一・五〇——(内容見本)

内容の一斑	子供達を送る日	飢えと寒さの子等
子ども達の中にあつて	詫びる心	母ものがたり
子どもの心のはた	自ら責める心	母の誕生・母の成長
佛心と童心	教育される教育者	あまい母・からい母
人間教育	創意なき教育	ほいほい子問題
小さき太陽	自らを新たにする教育	子どもの癖しらべ
にじみ出る眞實性	感情の清算	子どもの心
まめやかさ	この萌芽に對して	いろいろの子供
こゝろもち	春風秋雨	子どもの相手
ひきつけられて	美しい田舎の子供の夏	行童の子ども
飛びついて来た子ども		

東京・神田・駿河臺
刀江書院
電話 三三九一
電話 三三九一
電話 三三九一
電話 三三九一